

これからの暮らしを自分の力で楽しもう！

～食の視点で“できること”を伸ばす支援～

八王子市

# 食ナビ訪問

## 運用マニュアル

令和8年(2026年)4月発行【第4版】

八王子市福祉部高齢者いきいき課

## 食ナビ訪問とは

食に関わる専門職が、高齢者と一緒に食生活を見直し、暮らしに合った工夫や支援方法等の助言、提案をすることで、介護予防の効果を高め、高齢者が“望む暮らしを取り戻す(リエイブルメント)”ことを目指すサービスです。

「食ナビ訪問」の名称には、



**食**の視点から、高齢者が自分の足で歩き続けられる道を  
**ナビ**ゲーション(案内)する、単発の**訪問**事業

という意味が込められています。

「ナビ」の名のとおり、支援者が行うのは、

「利用者が自分の足で歩き続けられる道を案内する」ことです。

そのためこの支援では、以下の視点を大切にしています。

1

### 本人の自信や気持ちを引き出す

- ・「悪い点」だけではなく、「良い点」も見つける。
- ・望みを聞き出し、そこを目標にする。

2

### 「正しく食べる」ではなく、「楽しく食べる」を支援

- ・食事を楽しみながら続けられるような方法を一緒に考える。
- ・その人の生活や個性等も見る。(「楽しい」は、人それぞれ。)

3

### セルフマネジメントの定着を促す

- 支援が終わった後もセルフマネジメントできるように、本人が自分で考えて行動することを促す。(安易な指導等をしない)

# 目次

項目	ページ
1 事業内容について	
(1)支援全体の概要	1
(2)同行訪問	3
(3)会議協議体への参加	5
(4)住民主体の活動への支援	6
2 依頼から支援への流れ	
(1)支援のフロー	8
(2)依頼方法について	9
(3)日程調整・情報共有について	10
(4)支援について	11
(5)報告書について	12
(6)変更・中止する場合	14
3 困ったときには・・・	
(1)相談先について	15
(2)【Q&A】よくある質問	16
4 各種様式	
(1)依頼様式	18
(2)報告様式	22

# 1 事業内容について

## (1) 支援全体の概要

食ナビ訪問のサービスには、①同行訪問、②会議協議体への参加、③住民主体の活動への支援の3つのメニューがあります。それぞれの概要は以下のとおりです。

	①同行訪問	②会議協議体への参加	③住民主体の活動への支援
対象者	65歳以上 (要介護1～5を除く)		65歳以上の高齢者を含む住民団体
依頼者	・包括(※1) ・ケアマネジャー	・包括 ・SC(※2)	・包括 ・SC
依頼様式	様式 A	様式 B	様式 C
支援者	食ナビ訪問に登録している管理栄養士・歯科衛生士・言語聴覚士		
支援可能日時	原則、月曜日～金曜日(祝・休日・年末年始を除く) 9時～17時		
支援回数	原則、1回(1案件につき1回のみ)		
支援時間	原則、1時間(原則、30分以上実施。現地までの移動時間除く。)		
依頼方法	ケアステへメールで各様式を提出 ( <a href="mailto:eiyou-cs@eisei.or.jp">eiyou-cs@eisei.or.jp</a> )		
利用者負担	無料		
支援者の報告書提出期限	支援後、1週間以内		
委託先	医療法人社団永生会 機能強化型 認定栄養ケア・ステーション (通称:ケアステ) ※令和8年4月より名称が変更されています。 【住所】〒192-0916 八王子市みなみ野 5-30-25 【電話】042-661-4141 【メール】 <a href="mailto:eiyou-cs@eisei.or.jp">eiyou-cs@eisei.or.jp</a>		

各支援内容の詳細は、P3(2)～P6(4)をご覧ください。

## (※1)包括:地域包括支援センター

高齢者が住み慣れた地域で安心して暮らし続けるための総合相談窓口で、介護・医療・保健・福祉を一体的に支援する地域の身近な相談窓口(公的機関)です。

八王子市では、地域包括支援センターを「高齢者あんしん相談センター」という愛称で21か所設置されています。

包括担当町名一覧→



## (※2)SC:生活支援コーディネーター

高齢者が住み慣れた地域で安心して暮らし続けられるよう、住民同士の支え合いやボランティア活動などの生活支援体制を構築する専門職です。

高齢者あんしん相談センターに配置され、ニーズの把握、活動の担い手育成、マッチングを行います。

### 食ナビ訪問の支援者って、どんな専門職？



管理栄養士

“食べる力”と日常の食習慣を総合的に評価し、無理なく楽しく続けられる食生活を支援する専門職です。調理のしやすさ、生活リズム、嗜好など、その人の暮らしに寄り添って食生活を整えます。



歯科衛生士

“口の健康”を維持し、食べる楽しさを支える専門職です。口腔清潔の状態や義歯の使い方、噛む力などを確認し、毎日の暮らしの中で取り入れられるケアを伝えることで、おいしく食べ続けられる口の健康を整えます。



言語聴覚士

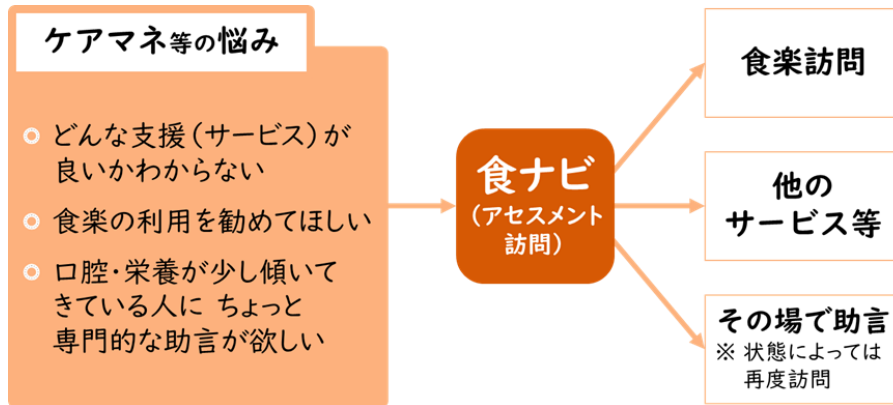
食べこぼし・むせ・飲み込みづらさなどの“嚥下”や、“コミュニケーション”の問題に対応し、安全に楽しく食べ続けられるよう支援する専門職です。家庭環境で実施しやすい訓練や食べ方の工夫も伝え、日常生活の中での「安心して食べる」環境を整えます。

## (2) 同行訪問

- ◆対象者……………65歳以上(要介護1～5の方を除く)
- ◆依頼者……………包括または、担当ケアマネ
- ◆依頼書・報告書…【様式A】(P18～19、22)
- ◆支援者持ち物…同行訪問報告書、握力計(ケアステ・市で貸し出し可)

同行訪問とは、包括などが行う高齢者の「アセスメント」に、食ナビ訪問に登録している管理栄養士、歯科衛生士、言語聴覚士のいずれか(以下「支援者」という)が同行して支援することです。支援者はICFの視点で、生活機能や生活背景を確認しアセスメントを行います。その結果をもとに、望む暮らしを取り戻す(リエイブルメント)ための支援や介護予防の目標、必要なサービスについて利用者と依頼者に助言します。

### 食ナビ訪問のイメージ



### 食ナビ訪問で行うアセスメントとは？

支援が必要な人の“今の状態”と“困っている理由”を整理し、どんな支援が最適かを見つけるための情報収集と分析のことです。

「どうすればその人らしく暮らせるか」を一緒に考えるケアプランづくりの土台になる、とても大事なステップです。



## 同行訪問はどのような時に使うの？

### ～利用目的例～

利用者の課題	同行訪問の利用目的例
食べているが、痩せてきたことが気になる。	食生活の状況や課題を整理し、介護予防に向けた支援の提案や助言をしてほしい。
医療機関での栄養や口腔保健指導内容を、暮らしの中で定着することができない。	食生活の現状と課題を整理して、今後の支援方針の相談や助言をしてほしい。
栄養や口腔、飲み込みに課題がありそうだが、アセスメントが難しい。	専門職によるアセスメントで本人の状態に合った支援の提案や助言をしてほしい。
食事や準備の負担が大きくなってきた。	自立した食生活を続けられるよう、食事や調理環境に関する支援の助言がほしい。
食楽訪問の利用を検討している。	食生活の現状や食に関する課題を把握し、サービス導入に向けた合意形成をしたい。
地域の食支援サービスや食に関する資源の活用を検討している。	食生活の状況や課題を整理し、介護予防に向けた支援の提案や助言をしてほしい。
通所 C(ハチプロ)の専門職から、食の課題を相談された。	食の視点での課題を整理し、介護予防に向けた助言や提案をしてほしい。



### (3) 会議等参加(地域ケア会議等への参加)

- ◆依頼者……………包括または、SC
- ◆依頼書・報告書…【様式 B】(P20、23)

高齢者の介護予防や自立支援、ケアプラン作成を支援するための会議に参加し、専門職としての視点から、医療・介護サービスの効果的な導入や食ナビ・食楽訪問も含めた介護予防事業の活用について提案します。また、セルフマネジメント(自分の健康や生活を自ら整え、管理する力)が定着するように、さまざまな助言や提案を行います。

#### 【主な会議】

会議名	主催者	内容
地域ケア会議 (自立支援型)	包括	多職種や場合によっては本人、家族等が参加し、1人の高齢者に対して、自立(できることを増やし、望む暮らしを続けられるようにする)に向けた知恵を出し合う会議。
協議体	SC	各地域の SC と地域の多様な主体(医療・介護専門職・住民・民間企業等)が参加し、地域の様々な困りごとに対して、課題把握から対策実施までを目指す会議体。

### 地域ケア会議に参加する際の **5** つの心得 (自立支援型)



#### 1 「できない理由」より「できる可能性」を探す

- ・年齢や疾患で判断せず、今ある力や工夫で広がる生活に目を向ける。

#### 2 主役は「サービス」ではなく「本人の生活」

- ・制度やサービスの前に、本人がどう暮らしたいかを中心に考える。

#### 3 正解を出そうとしない(評価の場ではない)

- ・会議は結論を競う場ではなく、参加者のスキル向上や共通理解を深める場でもある。

#### 4 専門職の視点は「生活につなげて」出す

- ・専門的知見は、本人の毎日の行動・環境に落とし込む。



#### 5 批評ではなく、支援者を「支える」視点で

- ・支援内容や意見を批判するのではなく、一緒に次の一步を考える視点が大切。

参考:厚生労働省「地域ケア会議の推進について/地域ケア会議の5つの機能」「地域ケア会議(自立支援型マネジメント)研修資料」「自立支援のための地域ケア会議 手引き(介護予防活動普及展開事業)」

#### (4) 住民主体の活動への支援(介護予防に関する講座等)

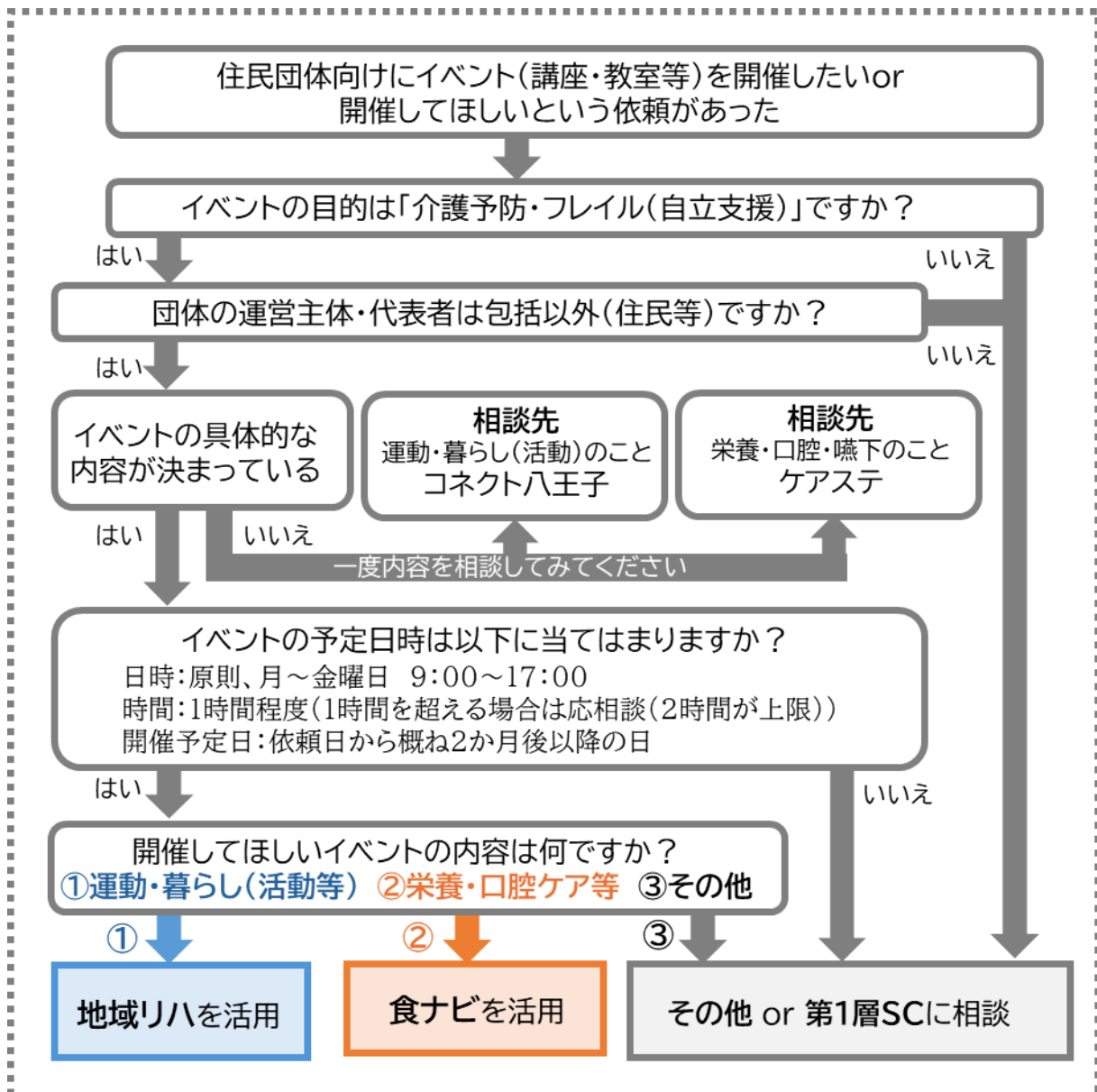
- ◆対象者………65歳以上の高齢者を含む地域団体(サロン、サークル、クラブ等)
- ◆依頼者………包括または、SC
- ◆依頼書・報告書…【様式C】(P21、24)
- ◆利用回数………原則、1団体1回/年(但し、専門職が異なる場合は複数回利用可)

地域で行われている体操教室や高齢者サロン、地域食堂などの介護予防活動に関わり、高齢者の生活上の課題を解決するための講座を実施します。

また、団体が今後も健康的に、元気に活動を続けられるよう、活動内容を評価し(状況把握や継続のための支援)、助言を行います。



依頼者は、依頼前に以下のフローチャートをご確認ください。



## 講座等の内容(例)



管理栄養士

### 1 食べてフレイル予防！たんぱく質アップ講座

筋力維持に必要なたんぱく質のとり方や、簡単な工夫で続けやすい“ちょい足しテク”など。

### 2 食事量が減ってきた？低栄養を防ぐ食事のコツ

日頃の食事で気を付けるポイントや、しっかり栄養がとれる簡便メニュー、市販食品の活用法など。



歯科衛生士

### 1 オーラルフレイル予防！噛む力・味わう力を守る講座

口腔機能低下のサインをチェックし、パタカラ体操や口腔ケアのコツで“食べる準備力”の高め方。

### 2 義歯でおいしく食べる！義歯ケア&使いこなし講座

義歯トラブルの原因、清掃・保管のポイント、痛い・噛みにくい時の対処方法など。

### 3 口の乾燥・味覚低下を防ぐ！舌と唾液の健康講座

舌清掃、唾液腺マッサージ、口の潤いを保つ生活習慣など、食事の満足度と安全性をアップする方法。



言語聴覚士

### 1 むせない食べ方教室～飲み込み力のセルフチェック～

嚥下機能の衰えを早期に見つけ、姿勢・一口量・スピードなど“むせ予防の食べ方”など。

### 2 飲み込みを鍛えて元気に！嚥下トレーニング講座

舌・頬・表情筋のトレーニングや、家庭でできる簡単な嚥下体操で、安全に食べる力を維持する方法。

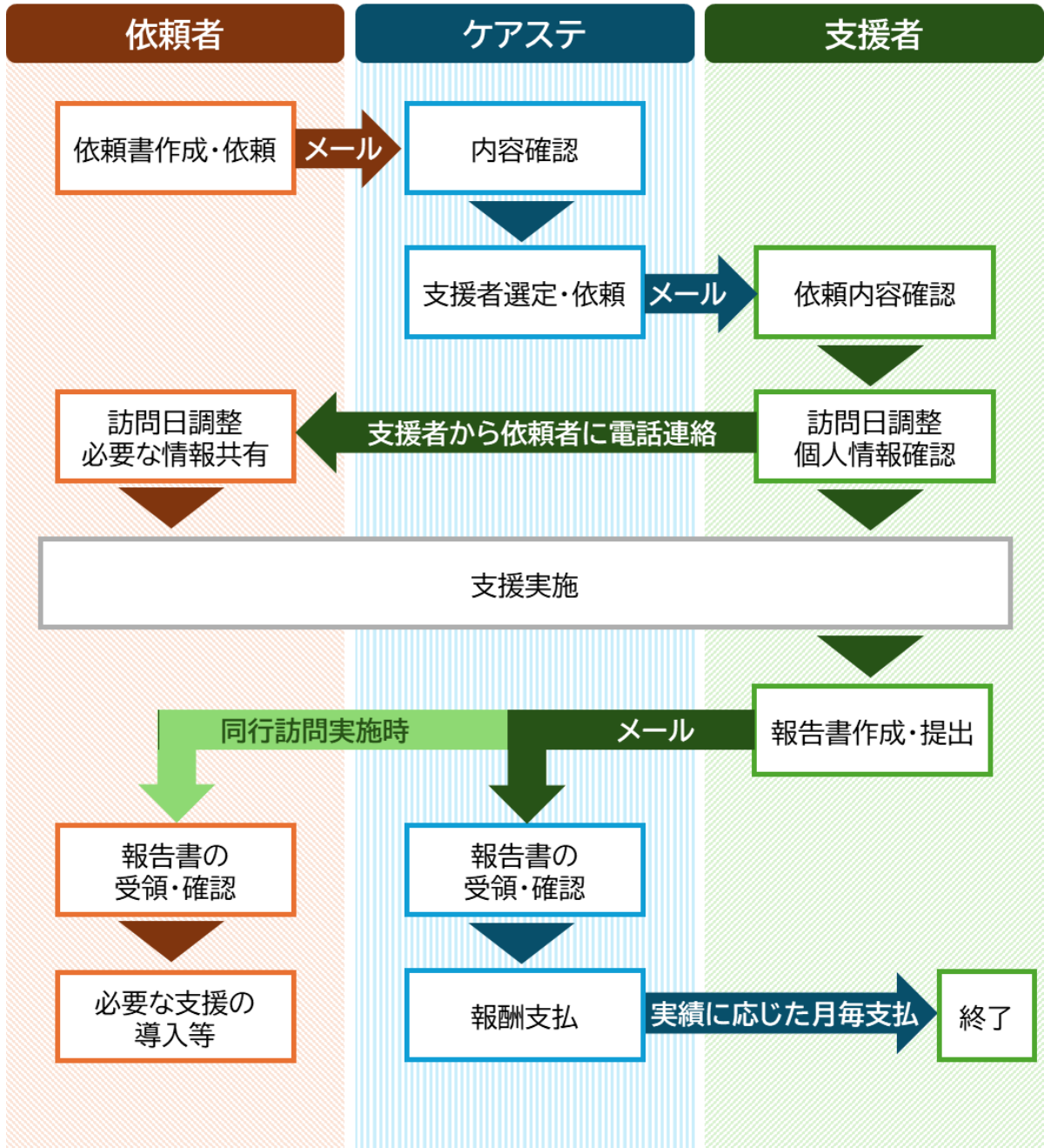
### 3 声と会話でフレイル予防！コミュニケーションUP講座

声が出にくい・話す機会が減ってきた方に向けて、発声練習と簡単ワークで“社会的フレイル”を予防する方法など。

## 2 支援の流れ

### (1) 支援のフロー

基本のフローは下記の通りになります。



支援の流れの詳細は、事項の(2)～(5)をご覧ください。

## (2) 依頼方法について

### ① 依頼時の注意事項

- ア 依頼内容について、自立支援に資する目的になっているかご確認ください。
- イ 希望日にゆとりを持って依頼してください。

#### 「自立支援に資する目的」って何だろう？

利用者が自分の力を発揮して、できるだけ自分らしく生活できるように支えることが目的です。そのため、以下の依頼内容になっていないか、ご確認ください。

- ・医療的な症状の確認・判断・改善を求める内容になっていないか？
- ・治療を目的とした栄養指導や歯科指導を求める内容になっていないか？



- 血液検査の値を改善するための栄養指導をしてほしい。
- 口腔機能低下症などの口腔疾患がないか診断をしてほしい。
- 歯が痛いので見て欲しい。など

→医療的な判断や治療が必要な場合は、医療機関を受診しましょう。



### ② 依頼書の注意事項

- ア 各支援に応じた依頼様式をお使いください。(同行訪問【様式 A】、会議協議体への参加【様式 B】、住民主体の活動への支援【様式 C】)
- イ 【様式 A】の依頼書には、「基本情報」と「詳細情報」の 2 シートあります。「基本情報」には全て記入、「詳細情報」はわかる範囲でご記入ください。
- ウ 【様式 A】の依頼サービス種別は、「食ナビ訪問」に✓を入れてください。
- エ 個人情報保護の観点から、氏名はイニシャル、住所は町名までをご記入ください。
- オ 依頼書(Excel)を送付する際、PDFデータに変換しないでください。
- カ 依頼書(Excel)作成時に他のシートを削除しないでください。  
同ファイル内に食ナビ専門職が作成する報告書も保存されています。
- キ 【様式 C】は、依頼書の作成前に『依頼前の確認事項(フローチャート)(P6)』をご確認ください。

### ③ 依頼書の取得

各様式は、下記のいずれかの場所からダウンロードしてお使いください。

包括共有フォルダ	
共有フォルダ>70_福祉課から通知>05_介護予防・日常生活支援総合事業 >08_食ナビ訪問	 共有フォルダ
ケアステホームページ	
<a href="https://www.eisei.or.jp/carestation/">https://www.eisei.or.jp/carestation/</a>	
Ayamu(地域づくりを支援するサイト)	
<a href="https://ayamu.casio.jp/">https://ayamu.casio.jp/</a> (ログイン画面)	

### (3)日程調整・情報共有について

依頼書を受け取った食ナビ専門職の支援者は、依頼者に電話で日程調整を行います。依頼者は、日程調整と共に、支援者に詳細な情報の共有を行ってください。

#### 【情報共有の内容例】

- ・支援実施日の日程調整
- ・利用者の氏名/住所等の個人情報
- ・支援の際に留意してほしいこと
- ・依頼内容の詳細や不明点
- ・訪問先の駐車場の有無、緊急時の連絡先 等



## (4) 支援について

### ① 依頼者

依頼者は、まず同行訪問の目的、食ナビ専門職の紹介を行ってください。

なお、本支援は「依頼者に支援者が同行して訪問する」形式で実施します。支援当日に支援者のみで利用者宅へ訪問させることがないよう、あらかじめ日程調整に十分ご注意ください。

### ② 食ナビ専門職

支援時間は1時間程度に収めるよう、心掛けてください。

支援は以下の手順を参考に、実施してください。

挨拶	緊張をほぐすように日常会話も交えながら。
自己紹介	名前、職種、訪問理由の簡単な説明をする。
面接の説明	同行訪問依頼書にもとづき面接をすること、生活全体について聞くこと、守秘義務、所要時間の説明をする。
記録の承諾	同行訪問報告書を作成するため、メモを取る承諾を得る。
課題の確認	同行訪問依頼書の「同行訪問の目的・課題」の確認をする。
全体像の把握	同行訪問報告書(ICF)を用い、食べることの全体像を把握する。現在→過去→未来の順で聞くと、取り戻したい楽しみが出やすい。
問題の整理	本人の問題理解、問題解決能力、利用しているサービスや支援等の状況を整理する。
具体的提案	すぐできる改善案、食楽訪問等の様々なサービスの提案、受診勧奨など、同行の依頼者に確認しながら提案する。
本人の意思確認	提案が実現可能か、別の案が必要か、 <u>本人に確認</u> する。
クロージング	面接内容のまとめと提案への対応を依頼者に確認する。さらに話したかったことはないか <u>本人に確認</u> する。

参考:2022年8月25日開催 食ナビ訪問勉強会 山本哲氏作成資料より

## (5) 報告書について

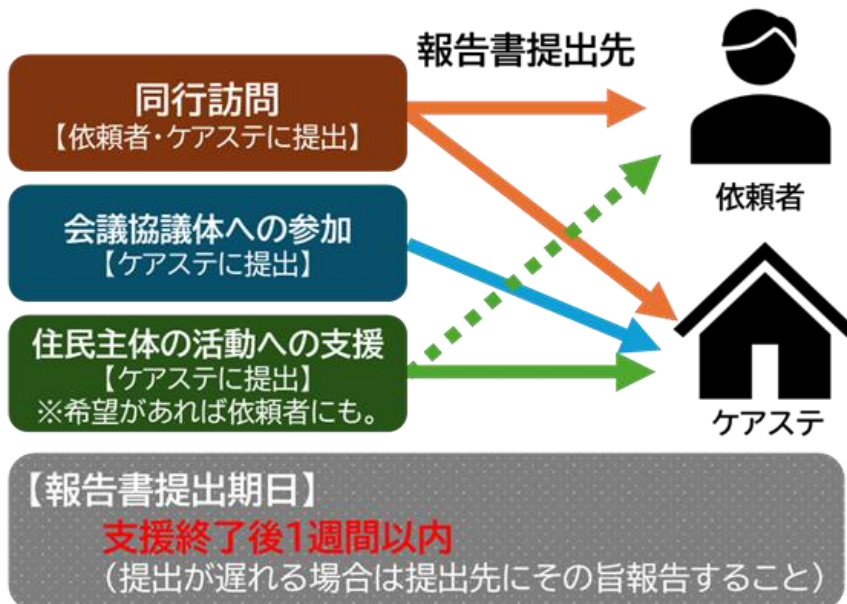
支援終了後、食ナビ専門職の支援者は、実施した内容を依頼者からの依頼書(Excel)にある「【専門職記入】報告書」のシートにまとめ、1週間以内にメールで以下の提出先に提出します。

### ① 報告書の提出先

【様式A】同行訪問 ……………ケアステ・依頼者

【様式B】会議協議体への参加…………ケアステ

【様式C】住民主体の活動への支援…ケアステ・依頼者(希望や連絡事項がある場合)



### ② 注意事項



- ア 個人情報の取扱いには注意してください。
- イ 報告書は、1案件につき1シート作成してください。
- ウ 報告内容は1シートに収まるよう、簡潔に記入してください。
- エ 報告書は、支援後1週間以内にケアステへメールでご提出ください。
- オ 報告書のファイルはPDF化せず、エクセルファイルのままご提出ください。

③ 各支援での報告書作成時のポイント

ア 【様式 A】同行訪問報告書 （個人情報取り扱いにご注意ください！）

【食ナビ】 同行訪問報告書(食ナビ専門職作成用)											
同行訪問日時	令和	年	月	日							
依頼事業所名	0				→依頼シートから反映される						
利用者氏名	0				認定区分	0					
生年月日	0	0	年	0	月	0	日	年齢	歳		
同行訪問の目的・課題	→当日内容の確認(依頼書と同じであればそのまま記入)										
利用者情報(ICFより)											
健康状態					心身機能・構造						
握力も忘れずに記入→					身長	cm	体重	kg			
					BMI						
					握力	右	kg	左	kg		
					口腔の状態						
					義歯						
膝下											
活動(移動・運動)					どの食など)						
→ICFを活用しながら記入 依頼書から読み取れるものは、支援前に 予め記入しておくが良い											
環境因子					個人因子(習慣・嗜好・食事回数・趣味・仕事など)						
入的											
屋内											
周辺											
地域資源											
制度											
訪問時の提案内容											
評価内容					提案内容						
栄養に関して	→専門的な視点で評価した内容を記入				→利用者本人に助言した内容を記入						
口腔機能・衛生に関して											
発声発話・認知に関して											
食事全般及び社会的交流に関して											
健康管理 その他											
※ 実施していない項目は、空欄が良い											
食養訪問(訪問C)					→必要な支援があれば入力				不要		
食ナビ再訪問									不要		
まとめ											
→依頼者に対する助言・提案等をを簡潔に記入											
事業所											
作成者											
職種											

## イ 【様式 B】会議等参加報告書

【地域リハ・食ナビ】会議等参加報告書	
会議分類	→ 依頼シートから反映される
会議名	→ 依頼シートから反映される
主催	
会議日時	令和 年 月 日 開催 会議参加者数 人
会議内容	→ 会議内容の概要 (詳細に記載しなくてよい)
実施内容 (助言内容)	→ 出席した専門的が助言や 提案した内容だけ記入
作成者	
所属	
氏名	報告書作成日 令和 年 月 日

## ウ 【様式 C】住民主体の活動へ支援報告書

【地域リハ・食ナビ】住民主体の活動への支援報告書	
訪問団体名	→ 依頼シートから反映される
開催日時	令和 年 月 日
概ね参加人数	人
依頼内容	
実施内容	→ 実施した内容の概要 (詳細に記載しなくてよい)
<small>※講座実施時に使用した資料データがあれば添付して提出をお願いいたします。</small>	
福祉への 連携事項	→ この欄に記入がある場合は、 依頼者へも提出
作成者	
所属	
氏名	報告書作成日 令和 年 月 日

※2時間実施の場合は、2枚提出してください。

## (6) 支援日時の変更・中止をする場合

### ① 利用者(高齢者)側の都合で日程変更または、中止する場合

- ・ 依頼者は速やかに、食ナビ専門職に日程変更または、中止の連絡をしてください。
- ・ 変更の場合は、再度日程の再調整をしてください。
- ・ 中止の場合は、食ナビ専門職からケアステへ中止の連絡をしてください。

### ② 依頼者(包括・ケアマネ等)側の都合で日程変更する場合

- ・ やむを得ない事情で日程の変更が必要な場合は、速やかに利用者と食ナビ専門職に連絡をし、日程の再調整をしてください。

### ③ 支援者(食ナビ専門職)側の都合で日程変更する場合

- ・ やむを得ない事情で日程の変更が必要な場合は、速やかに依頼者に連絡をし、日程の再調整をしてください。再調整が難しい場合は、ケアステへ連絡・相談をしてください。

## 3 困ったときには

### (1)相談先

困りごとがありましたら、事項の「(2)よくある質問【Q&A】」をご確認ください。  
解決しない場合は、下記の連絡先へご連絡ください。

食ナビ訪問の支援に関するご相談	
医療法人社団永生会 機能強化型認定栄養ケア・ステーション（通称:ケアステ）	
☎ 042-661-4141	月～金 9時～16時30分
✉ eiyou-cs@eisei.or.jp	

※ケアステが支援中の場合は電話に出られません。留守番電話のメッセージへ入れていただければ折り返します。お急ぎでない場合はメールでお問い合わせください。

### 支援に向かう途中でトラブルに遭ったら



万が一トラブル(事故・災害・犯罪・体調不良・個人情報の紛失等)に遭った場合は「支援よりも安全」を最優先にしてください。

1. 各事業所で定めているフローに従って行動する。
2. 安全確保を最優先とし、無理な訪問・継続は行わない。
3. 支援の中止・延期が生じる場合は、速やかに関係者へ連絡する。
  - ・依頼者→利用者と食ナビ専門職
  - ・食ナビ専門職→依頼者※支援中止の場合は、後日ケアステへも報告してください。
4. 事後報告
  - ・市(高齢者いきいき課)



不測の事態や個人情報の取り扱いに備え、各事業所の対応手順・連絡体制を改めて確認しておきましょう！

## (2)よくある質問【Q&A】

### 【同行訪問】

#### Q1 認定申請中ですが、利用できますか？

65歳以上で、申込の時点で要介護1～5でなければ、認定申請中でもご利用できます。

#### Q2 第二号被保険者でも利用できますか？

介護保険上、当事業では第二号被保険者のご利用できません。

#### Q3 同じ利用者に対して何回も利用して良いですか？

原則、1案件につき1回のご利用になります。複数回の支援が必要な場合は、ハッピーチャレンジプログラム(通所C)や食楽訪問(訪問C)の利用もご検討ください。

#### Q4 地域リハと食ナビなど、複数の専門職が同時に同行訪問はできますか？

原則、別日で調整してください。訪問者が増えると調整が難しく、アセスメント不足や利用者の混乱を招く可能性があるためです。

#### Q5 疾患や障がいなどに対する状態確認や助言はしてもらえますか？

介護予防・自立支援を前提に、専門的知見にもとづいて健康状態を含めた評価・課題整理を行い、その結果から適切な支援内容や医療受診を含むセルフケアについて助言することは可能です。なお、医療サービスではないため、診断や治療を行うことはできません。

#### Q6 本人が支援の利用に前向きでない場合でも、利用しても良いですか？

ご利用する場合は、必ず依頼を掛ける前に、本人に対して事業説明をして同意を得てください。

#### Q7 委託のケアマネも同行訪問を利用できますか？

ご利用できます。ご利用の際は、包括からマニュアルや依頼書などの共有・事業内容・使い方等の説明をお願いいたします。

## 【会議協議体への参加】

### Q1 対象となる地域ケア会議は何ですか？

高齢者の自立支援を目的とした地域ケア会議(自立支援型地域ケア会議)が対象となります。

### Q2 会議の年間日程が決まっている場合、年まとめて依頼してもいいですか？

依頼書は一年分まとめてでも構いません。依頼方法はケアステと調整してください。

## 【住民主体の活動への支援】

### Q1 包括主催のイベントの場合は、利用できますか？

住民主体の団体が対象のため、包括主催のイベントは利用できません。

### Q2 実施時間が2時間になっても良いですか？

原則、1案件1時間程度で企画してください。講座・相談・質疑などを組み合わせ、1時間を超える必要がある場合は、2時間を上限に実施できます。

### Q3 1案件で依頼できる専門職の人数の上限はありますか？

専門職には人数・予算の制約があるため、依頼人数と活動時間は必要最小限でお願いします。複数名を依頼する場合は、時間帯で担当を分けるなどご調整ください。

### Q4 専門職に事前打合せへ参加してもらうことはできますか？

本事業として参加はできません。依頼前のフローチャート(P6)をご確認ください。

## 4 各種様式

### (1) 依頼様式

#### 【様式 A】(基本情報)

【地域リハ・食ナビ】様式A 同行訪問依頼書(基本情報)											
※既に利用者の情報を保有している場合は、別添詳細情報も作成のうえ、ご提出ください。											
依頼日	令和	年	月	日							
依頼者情報											
所属区分	高齢者あんしん相談センター			居宅介護支援事業所							
事業所名							担当者名				
連絡先											
依頼サービス種別	地域リハ(理学療法士・作業療法士・言語聴覚士)⇒コネクト八王子へ提出										
	食ナビ訪問(管理栄養士・歯科衛生士・言語聴覚士)⇒クアステへ提出										
対象者情報											
利用者氏名 (イニシャル姓・名)											
生年月日				年			月			日	
性別											
住所(町名まで)											
認定情報											
利用しているサービス	フォーマル										
	インフォーマル										
家族構成	独居										
	同居	同居人数	人	夫	妻	子	孫	ひ孫	その他		
居住環境	戸建て										
	集合住宅	居住階	階	エレベーター	階段						
同行訪問の目的	ケアプランの目標設定:自立した生活を維持するための課題の明確化(口腔・栄養・心身状態・生活環境など)										
	日常生活維持を目的とした活動/参加(食べる事を含む)の評価と提案(現状の心身状態を活かした暮らし方の提案)										
	短期集中予防サービス(通所C・訪問C)利用を見据えた評価										
	民間サービスや福祉用具利用導入にかかわる助言 など										
	その他										
同行訪問依頼の具体的な経緯											
その他、同行する専門職への申し送り事項等											

【様式 A】(詳細情報)

**【地域リハ・食ナビ】様式A 同行訪問依頼書 (詳細情報)**

申込日	令和 0 年 0 月 0 日	所属	0
申込者	0	連絡先	0
利用者氏名: イニシャル	0	性別	0
		生年月日	0 0 年 0 月 0 日

現在の生活状況	
一日の生活状況・暮らしぶり	ご本人の希望
	趣味・楽しみ
	活動および社会参加

	項目	自立度	環境(場所・福祉用具)	状況	課題
	活動	起き上がり			
立ち上がり					
屋内移動					
屋外移動					
階段昇降					
食事					
トイレ					
入浴					
更衣					
買い物					
調理					
洗濯					
掃除					
ゴミ捨て					

食課題	栄養	問題なし	偏りあり	体重増・減	孤食	その他
	口腔	問題なし	義歯の問題	口腔疾患	口渇	その他
	飲み込み	問題なし	むせる	飲み込みにくい	食べこぼす	その他

現病歴・既往歴と経過 (必要な医療情報等)				
疾患名	年月日(いつ頃から)	経過	服薬	特記事項

身長		cm	体重		kg	※ BMI #DIV/0!
----	--	----	----	--	----	---------------

【様式 B】

【地域リハ・食ナビ】様式B 会議等参加依頼書										
依頼日	令和	年	月	日	所属					
依頼者 氏名					連絡先					
会議分類	地域ケア会議	協議体	その他							
会議名										
希望日 (候補日)	第1希望日	令和	年	月	日	時	分	～	時	分
	第2希望日	令和	年	月	日	時	分	～	時	分
開催場所	オンライン	会場	予定会場 →							
参加希望 職種	管理栄養士	人	歯科衛生士	人	言語聴覚士	人				
	理学療法士	人	作業療法士	人						
会議内容 (専門職に 関してはしい 内容など)										

【様式 C】

【地域リハ・食ナビ】様式C 住民主体の活動への支援依頼書

依頼日	令和	年	月	日	所属					
依頼者					連絡先					
希望する 支援内容										
(上記に補足が あれば記入し てください。)										
依頼団体名				活動地域						
団体 代表者名				連絡先 (必要があれば)						
開催日時 (候補日)	第1希望日	令和	年	月	日	時	分	～	時	分
	第2希望日	令和	年	月	日	時	分	～	時	分
概ね 参加者数 (予定)					人	希望 職種				
開催会場										
会場設定	団体に用意 している物	プロジェクター	スクリーン	パソコン	その他					
	専門職に用意 してほしい物	資料(紙)	資料(USB)	資料 (パソコン)	その他					
	備考欄									

(1)報告様式

【様式 A】

**【食ナビ】 同行訪問報告書(食ナビ専門職作成用)**

同行訪問日時	令和 年 月 日						
依頼事業所名	0		依頼者名	0			
利用者氏名	0		性別	0	認定区分	0	
生年月日	0	0	年	0	0	日	
			年齢		歳		
同行訪問の目的・課題							
利用者情報(ICFより)							
健康状態			心身機能・構造				
			身長	cm	体重	kg	
			BMI				
			握力	右	kg	左	kg
			口腔の状態				
			義歯				
			嚥下				
			発声発話				
			食欲				
活動(移動・運動・食材調達・調理・その他家事など)			参加(社会的交流・役割・居場所・他者との食など)				
環境因子			個人因子(習慣・嗜好・食事回数・趣味・仕事など)				
人的							
屋内							
周辺							
地域資源							
制度							
訪問時の提案内容							
	評価内容			提案内容			
栄養に関して							
口腔機能・衛生に関して							
発声発話・認知に関して							
食事全般及び社会的交流に関して							
健康管理 その他							
食楽訪問(訪問C)	要	不要	ハチプロ(通所C)	要	不要		
食ナビ再訪問	要	不要	地域リハ同行訪問	要	不要		
	⇒	ST	RD	DH			
まとめ							
事業所							
作成者							
職種							

【様式 B】

【地域リハ・食ナビ】様式B 会議等参加依頼書

依頼日 令和 年 月 日 所属

依頼者 氏名 連絡先

会議分類 地域ケア会議 協議体 その他

会議名

希望日 (候補日) 第1希望日 令和 年 月 日 時 分 ~ 時 分

第2希望日 令和 年 月 日 時 分 ~ 時 分

開催場所 オンライン 会場 予定会場 →

参加希望職種  
 管理栄養士 人 歯科衛生士 人 言語聴覚士 人  
 理学療法士 人 作業療法士 人

会議内容 (専門職に  
 助言してほしい  
 内容など)

【様式 C】

【地域リハ・食ナビ】様式C 住民主体の活動への支援依頼書

依頼日	令和	年	月	日	所属					
依頼者					連絡先					
希望する 支援内容										
(上記に補足が あれば記入し てください。)										
依頼団体名				活動地域						
団体 代表者名				連絡先 (必要があれば)						
開催日時 (候補日)	第1希望日	令和	年	月	日	時	分	～	時	分
	第2希望日	令和	年	月	日	時	分	～	時	分
概ね 参加者数 (予定)					人	希望 職種				
開催会場										
会場設定	団体に用意 している物	プロジェクター	スクリーン	パソコン	その他					
	専門職に用意 してほしい物	資料(紙)	資料(USB)	資料 (パソコン)	その他					
	備考欄									

八王子市 食ナビ訪問 運用マニュアル【第4版】

令和8年(2026年)4月発行

編集 八王子市福祉部高齢者いきいき課

発行 八王子市福祉部高齢者いきいき課

〒192-8501 八王子市元本郷町3丁目24番1号

TEL 042-620-7243 FAX 042-623-6120